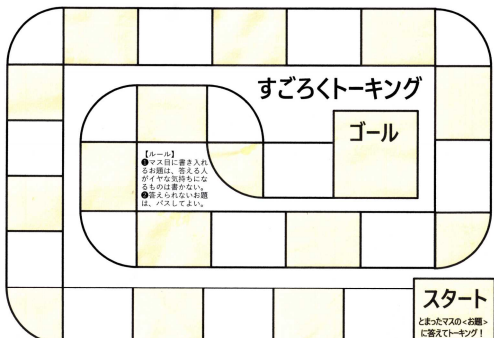


自作教具の活用事例

【作品名】 すごろくトーキングゲーム	【学校名】 日立市立金沢小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動 人間関係の形成～他者との関わり基礎	【制作者名】 川崎 正信
【制作の意図】 自分の思いや考えを相手に分かるように伝えることができるようにしたり、相手の考えに関心をもって聞き、受け止めたりすることができるようにするために作成した。	【使用方法】 初めに、基本的な話し方や聞き方の約束をする。すごろくトーキングをする順番を決めてから開始する。ゴールすることが目的ではなく、自分のことを話したり、相手の話をよく聞いたりすることが目的であることを確認する。
【制作上の工夫】 トーク内容は、行う時期によって「好きなこと」や「自分の名前」などの自己紹介に関するものや、時期によって、「最近したこと」や「〇〇のときはどうする？」など、自己開示できることをねらいに作成した。	【見取り図】  ・ 原本はA4サイズで作成。枠は、インターネットよりダウンロードしたものを利用した。マス目にお題などを書いていく。使用するときは、模造紙大に拡大印刷して使用する。 ・ 駒は、画用紙を2cm大の正方形に切る。自分の名前や好きな色のシールを貼って使用する。 ・ サイコロは、市販の物を利用する。 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 <使用効果> ・ 自分の考えを相手に伝えることができたり、相手の考えや思いを聞いたりすることができるようになる。 <応用発展> ・ 児童がお題を考えてB5サイズ of 用紙に手書きで書く。書いた用紙を児童たちが相談して並べてコースを作っていく。
【材料・材質・部品等】 ・ すごろくボード 模造紙大のもの ・ さいころ ・ 駒(人数分) 2cm大の正方形に自分の名前を書いたもの	